

第7章 取組実現に向けた課題

将来像である「伝統と文化を感じる多世代のための暮らしの拠点」を実現するために、第6章で記載した様々な取組が必要となります。第6章では主にハード整備を記載しており、その実現には多くの課題があります。

また、将来像実現のためにはハード整備だけでなく、ソフト対策も行っていく必要があります。以下に、取組実現に向けた課題を示します。

1. ハード整備における主な課題

- ・ 民間活力の導入が必要です。
- ・ 今後の人口減少などを踏まえて、過剰整備とならないように適切な規模、仕様、費用対効果を十分に検討することが必要です。
- ・ 整備後の維持管理を考慮し、メンテナンス性を踏まえた整備を行うことが必要です。
- ・ 補助金の活用やクラウドファンディングの活用など予算面における検討が必要です。
- ・ 整備を行うための敷地の確保など関係権利者との丁寧な合意形成が必要です。

2. ソフト対策における主な課題

- ・ 民間の取組との連携が必要です。
- ・ 公共施設等の整備に伴う商業施設や住宅の立地等を促進するための取組が必要です。
- ・ 公共施設等を活用するため、イベント等の実施における公共空間活用方法や体制等の仕組みの検討が必要です。
- ・ 公共施設等の整備の検討には、周辺の民地の土地利用の可能性も含めた検討が必要です。